

R6. 11. 4 (月)

試験問題

〔数学・世界史・日本史〕

どれか1科目を解答

(解答時間 40分)

1 受験心得

- (1) 指示があるまで問題を開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問には一切回答しません。
- (3) 計算等は問題用紙の余白を利用してください。
- (4) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (5) 計算機等の使用は認めません。
- (6) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしておいてください。
- (7) 試験終了後に試験問題はすべて回収しますので持ち帰らないようにしてください。

2 マークシート記入上の注意事項

☆ 解答用紙の注意事項をよく読んで次の要領で記入してください。

- (1) 記入は必ず HB 以上の濃さの鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
- (2) 「氏名」欄はフルネームを記入し、カタカナでふりがなを記入してください。
- (3) 「地本コード」欄は受験番号の県名等と対応するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (4) 「受験番号欄」欄は上部に4桁の受験番号を記入し、対応するマーク欄を塗りつぶしてください。区分、記号は該当するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (5) 「学問分野選択区分」欄は「文系」のマーク欄を塗りつぶしてください。
- (6) 「試験科目選択区分」欄は「数学」「世界史」「日本史」から1科目を選択し、対応するマーク欄を塗りつぶしてください。
- (7) 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。

氏 名	
--------	--

防衛省

[数 学]

次の式を計算したものとして、最も妥当なものはどれか。

(1) $(ax - 2b)^2 + 8abx$

1. $(ax + b)^2$
2. $(ax + 2b)^2$
3. $(2ax + b)^2$
4. $(2ax + 2b)^2$
5. $(4ax + 2b)^2$

(2) $2x^4 + x^2 - 3$

1. $(x - 1)\left(x - \frac{1}{3}\right)(2x^2 + 3)$
2. $(x - 1)^2(2x^2 + 3)$
3. $(x + 1)^2(2x^2 + 3)$
4. $(x + 1)(x - 1)(2x^2 + 3)$
5. $(x + 1)(x + 2)(2x^2 + 3)$

$$(3) 2x^2 + \frac{7}{3}x - 1$$

$$1. \left(2x - \frac{1}{3}\right)(x + 3)$$

$$2. \left(2x + \frac{1}{3}\right)(x - 3)$$

$$3. (2x + 3)\left(x - \frac{1}{3}\right)$$

$$4. (2x + 3)\left(x + \frac{1}{3}\right)$$

$$5. \frac{1}{3}(2x + 1)(x - 1)$$

$$(4) \left(\frac{2x + 3y}{5}\right)^2$$

$$1. \frac{4}{25}x^2 + \frac{1}{5}xy + \frac{9}{25}y^2$$

$$2. \frac{4}{25}x^2 + \frac{12}{25}xy + \frac{9}{25}y^2$$

$$3. \frac{4}{5}x^2 + \frac{6}{25}xy + \frac{6}{25}y^2$$

$$4. \frac{4}{5}x^2 + \frac{12}{25}xy + \frac{6}{25}y^2$$

$$5. \frac{4}{5}x^2 + \frac{12}{25}xy + \frac{9}{25}y^2$$

(5) $(3x + 1)(x + 2)(3x - 1)(x - 2)$

1. $3x^4 - 36x^2 + 5$

2. $6x^4 - 18x^2 + 5$

3. $6x^4 - 37x^2 + 5$

4. $9x^4 - 37x^2 + 4$

5. $9x^4 - 36x^2 + 4$

大人5人と子ども2人がいる。次の各問いに答えよ。

(6) 7人が1列に並ぶとき、両端が子どもになる並び方として、最も妥当なものはどれか。

1. 10通り
2. 120通り
3. 240通り
4. 720通り
5. 5040通り

(7) 7人が1列に並ぶとき、子どもが2人続けて並ぶ並び方として、最も妥当なものはどれか。

1. 120通り
2. 240通り
3. 720通り
4. 1440通り
5. 5040通り

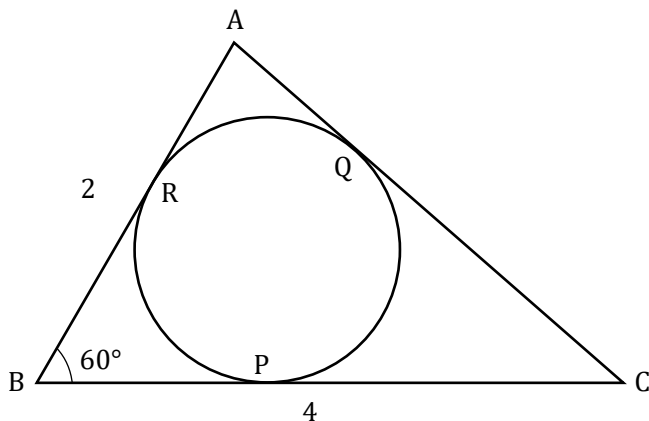
(8) 7人から4人を選ぶとき、大人3人、子ども1人を選ぶ選び方として、最も妥当なものはどれか。

1. 20通り
2. 120通り
3. 720通り
4. 1440通り
5. 5040通り

(9) 7人を2つのグループに分ける分け方として、最も妥当なものはどれか。ただし、2つのグループに区別はないものとする。

1. 49通り
2. 63通り
3. 64通り
4. 126通り
5. 128通り

下図のように、三角形 ABC の内接円が辺 BC 、 CA 、 AB と接する点を、それぞれ P 、 Q 、 R とする。また、 $AB = 2$ 、 $BC = 4$ 、 $\angle ABC = 60^\circ$ とする。次の各問いに答えよ。



(10) AC の長さとして、最も妥当なものはどれか。

1. 1
2. $\sqrt{3}$
3. 2
4. $2\sqrt{3}$
5. 4

(11) AR の長さとして、最も妥当なものはどれか。

1. $\sqrt{3} - \sqrt{2}$
2. $\sqrt{3} - 1$
3. 1
4. $3 - \sqrt{3}$
5. $\sqrt{3}$

(12) 内接円の半径として、最も妥当なものはどれか。

1. $\sqrt{3} - \sqrt{2}$
2. $\sqrt{3} - 1$
3. 1
4. $3 - \sqrt{3}$
5. $\sqrt{3}$

[世界史]

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

13世紀のはじめ、モンゴル高原東北部で頭角を現したテムジンが、勢力をのぼしてモンゴル系・トルコ系の諸部族を統一した。彼は1206年の(①)でチンギス=ハンとして即位し、大モンゴル帝国を建てた。

チンギス=ハンの死後、後を継いだオゴデイが金を滅ぼして華北を領有する一方、(②)は西征してキエフ公国などのスラヴ系諸侯を服属させ、さらに西方に進んでポーランドにまで達した。その後、クビライが帝国の東方勢力の支持を得て即位し、国号を③元と定め、中国全土の支配を完成させた。

モンゴル帝国の成立によってユーラシア東西の統合が実現すると、④ヒトやモノ、情報の移動・流通が活発化し、学術や技術、思想面の交流も促進された。

14世紀になると、自然災害や疫病が流行し、モンゴル帝国は急速におとろえた。経済の混乱と飢饉の被害に民衆が苦しむなか、白蓮教徒の起こした(⑤)をはじめとする反乱が各地でおこり、元は1368年に明軍に都を奪われてモンゴル高原に退いた。

(1) 空欄①に入る名称として正しいものを1つ選べ。

1. ウルス
2. カガン
3. クリルタイ
4. ジャムチ
5. パイザ

(2) 空欄②に入る人物として正しいものを1つ選べ。

1. アリクブケ
2. ジョチ
3. トウルイ
4. バトゥ
5. フレグ

(3) 下線部③に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 初期の元では、礼儀と道徳による支配を説く儒学は重視されなかったため、中国社会のエリートである形勢戸は優遇されず、科挙も廃れた。
2. 元は、遊牧国家と中国的な農耕・都市文明の双方を代表する国家となり、1276年に北宋の首都臨安を攻略して北宋を滅ぼし、中国全土に支配を広げた。
3. クビライは、1271年に国号を元と定めるとともに、大都に都をおいて冬の都とし、大都の北の草原にカラコルムを新たに建設して夏の都とした。
4. 中央アジアや西アジアから移住してきたトルコ人、ペルシア人、アラブ人らは、南人とよばれ、財務官僚や貿易商人などとして活躍した。
5. 銀をおもな通貨とし、その補助として交鈔とよばれる紙幣を広く流通させたことにより、役割の低下した銅銭は日本などに流出して各地の経済を刺激した。

(4) 下線部④に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. ヨーロッパの火薬・羅針盤・印刷術などがイスラーム諸国を介して中国に伝わり、学芸・美術や技術に大きな影響を与えた。
2. イル＝ハン国の宰相ラシード＝ウッディーンは、各地の情報を収集して、モンゴル史をはじめとするユーラシア世界史『集史』をペルシア語で著した。
3. 西ヨーロッパでは、急激に拡大したモンゴル帝国に関心をいだき、ローマ教皇はルブルックを、フランス王ルイ9世はプラノ＝カルピニを派遣した。
4. イスラーム天文学の知識にもとづいてパスパが作成した授時歴は、高精度な太陰太陽暦であり、江戸時代の「貞享暦」の基礎となった。
5. 中国の白磁とイランのコバルト顔料による絵付の技術がモンゴルのもとで結びついて誕生した陶磁器（染付）は、赤花ともよばれ景德鎮を中心に生産された。

(5) 空欄⑤に入る乱の名称として正しいものを1つ選べ。

1. 紅巾の乱
2. 黄巾の乱
3. 黄巢の乱
4. 赤眉の乱
5. 太平道の乱

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

18世紀後半、イギリスで産業革命がはじまった。それまでイギリスの主な工業製品は毛織物であったが、17世紀に（①）から輸入されるようになった綿織物の需要が極めて高く、国産化が図られた。また、②農業革命により、土地を迫られた農民の多くは都市に流入し、新たな工場の労働者として吸収される条件が作られた。

毛織物工業のために発明されたジョン＝ケイの飛び杼が綿工業に応用されたのをきっかけに、（③）のジェニー紡績機、（④）の水力紡績機、（⑤）の力織機などが相次いで現れた。このような技術の進歩により大規模な機械制工場が発達すると、交通手段にも変化があらわれた。18世紀後半から国内の輸送路として運河網が形成されるが、19世紀半ば以降は⑥鉄道がこれに代わることになった。

イギリスに起こった産業革命は、19世紀のうちに⑦世界に波及した。

（6）空欄①に入る国名として正しいものを1つ選べ。

1. インド
2. オランダ
3. フィリピン
4. フランス
5. 中国

（7）下線部②に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 貧民化した農民を救済するために、救貧法を制定した。
2. 土地制度改革により、村の私有地を共有地に転換した。
3. ノーフォーク農法が普及し、農業生産が飛躍的に発展した。
4. 第1次囲い込みにより、耕地を羊毛生産のための牧場に転換した。
5. 牧草栽培で家畜を増やし、畜糞を肥料として穀物増産をはかる三圃制が普及した。

(8) 空欄③～⑤に入る人名の組合せとして正しいものを1つ選べ。

- | | ③ | ④ | ⑤ |
|----|---------|---------|---------|
| 1. | アークライト | カートライト | ハーグリーブズ |
| 2. | アークライト | ハーグリーブズ | カートライト |
| 3. | カートライト | ハーグリーブズ | アークライト |
| 4. | ハーグリーブズ | カートライト | アークライト |
| 5. | ハーグリーブズ | アークライト | カートライト |

(9) 下線部⑥について、1830年に開通し最初の本格的な営業運転とされた鉄道の区間として正しいものを1つ選べ。

1. エディンバラ — グラスゴー
2. ストックトン — ダーリントン
3. ノッティンガム — バーミンガム
4. リヴァプール — マンチェスター
5. ロンドン — ブリストル

(10) 下線部⑦について、フランスとともに19世紀前半に産業革命が進んだ国として正しいものを1つ選べ。

1. アメリカ合衆国
2. イタリア
3. 日本
4. ベルギー
5. ロシア

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

第一次世界大戦勃発の背景には、緊迫した①バルカン情勢があったが、直接的原因となったのは、オーストリアの帝位継承者夫妻がボスニアで暗殺された（②）事件であった。1914年7月にオーストリアがセルビアに宣戦を布告すると、戦火は両国の間だけにとどまらず、列強を次々と巻き込む世界大戦へと拡大していった。開戦直後、ドイツは中立国であった（③）に侵入し、さらにフランスに侵攻して、⑤パリにせまったが阻止され、膠着状態におちいった。日本は1914年8月、日英同盟を口実に連合国側に加わった。また、イタリアは（④）を締結し、連合国側として参戦した。そして、アメリカ合衆国が1917年4月に参戦すると、連合国側が圧倒的に優勢となった。

4年余りの戦闘の末、1918年に同盟国側のドイツが連合国側と休戦条約を結び、第一次世界大戦は終結した。この大戦中、ロシアでは1917年3月に首都ペトログラードで起きた大規模なデモやストライキをきっかけに革命が起こり、⑥皇帝は退位に追い込まれた。その後成立した臨時政府に対して⑦レーニン率いるボリシェヴィキは武装蜂起し、史上初の社会主義政権を樹立した。

(11) 空欄①に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. バルカン半島の緊張の背景には、ドイツ・オーストリアのパン＝ゲルマン主義と、ロシア・フランスのパン＝スラヴ主義との対立があった。
2. 第2次バルカン戦争は、第1次バルカン戦争で獲得した領土の分配をめぐり、セルビア・ブルガリアなどとギリシアが対立して、1913年に新たにおこった。
3. 1912年の第1次バルカン戦争では、イタリア＝トルコ戦争に乗じて、バルカン同盟諸国はオスマン帝国に宣戦し、翌年に勝利して領土を奪った。
4. 1908年にギリシア独立戦争がおこってオスマン帝国が混乱すると、オーストリアは、行政権を得ていたボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合した。
5. 1912年、ドイツの支援を受けて、セルビア・モンテネグロ・ブルガリア・ギリシアの間でバルカン同盟が結成された。

(12) 空欄②～④に入る語句の組合せとして正しいものを1つ選べ。

- | | ② | ③ | ④ |
|----|-------|-------|-----------|
| 1. | サラエヴォ | ポーランド | ロンドン秘密条約 |
| 2. | ファシヨダ | ベルギー | サイクス・ピコ協定 |
| 3. | サラエヴォ | ベルギー | サイクス・ピコ協定 |
| 4. | サラエヴォ | ベルギー | ロンドン秘密条約 |
| 5. | ファシヨダ | ポーランド | ロンドン秘密条約 |

(13) 下線部⑤の戦いの名称として正しいものを1つ選べ。

1. ヴェルダンの戦い
2. スターリングラードの戦い
3. ソンムの戦い
4. タンネンブルクの戦い
5. マルヌの戦い

(14) 下線部⑥の皇帝として正しいものを1つ選べ。

1. アレクサンドル2世
2. イヴァン4世
3. ウラディーミル1世
4. ニコライ2世
5. ピョートル1世

(15) 下線部⑦について、レーニンおよびボリシェヴィキに関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 憲法制定会議の選挙が実施され、農民を基盤とする共産党が第一党になると、レーニンは1918年1月に同会議を強制的に解散させた。
2. 1918年3月、ソヴィエト政権はドイツと単独講和にふみきり、バルト地方などをドイツに譲るブレスト＝リトフスク条約を締結した。
3. 1917年11月、レーニンはケレンスキーとともにボリシェヴィキを率いて、ペトログラードで武装蜂起をおこし、臨時政府を倒してソヴィエト政権を樹立した。
4. 十月革命で誕生した新政権は、「平和に関する布告」を出して、無賠償・土地の私有権の廃止・民族自決の原則による講和を全交戦国に呼びかけた。
5. 1917年4月、亡命先のスイスから帰国したレーニンは「四月テーゼ」を発表し、戦争の継続や臨時政府の打倒、社会主義政権の樹立などを唱えた。

[日本史]

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

1180年、源（①）は後白河法皇の子である以仁王とともに平氏打倒の兵を挙げたが失敗に終わった。しかし、これをきっかけに伊豆の源頼朝や木曾谷の（②）をはじめ、諸国の源氏が挙兵し、全国的な内乱が展開された。1181年、平清盛が64歳で病死すると平氏は急速に衰えを見せた。1183年、平氏は（②）の軍に敗れ、勝利に乗じた（②）の軍勢は、天皇を擁して西国に逃れた兵士を追って入京した。

後白河法皇から（②）討伐の命令を受けた頼朝は、弟の源範頼・（③）を上洛させ、1184年に（②）を討ち、続いて平氏を急襲して敗走させた。翌1185年、（③）らは四国の讃岐に移った平氏を奇襲し、さらに、Aの戦いで平氏を滅ぼした。

頼朝は（③）の追討を名目に、後白河法皇にせまって、諸国に守護を、荘園や公領には地頭を設置する権利を認めさせた。こうして、東国を中心とした頼朝の支配権は西国にもおよび、武家政権としての④鎌倉幕府が成立した。

鎌倉時代になると、⑤仏教に新しい動きがでてきた。文化の面では、公家が従来の伝統文化を継承し、その主流を占めた。一方では、武士や庶民に支持されて、素朴ながらも力強い武士独自の文化を生み出していった。また、宋との交渉などにより、⑥学問や文芸の分野でも新しい傾向が生まれた。

(1) 空欄①～③に入る人名の組合せとして正しいものを1つ選べ。

- | | ① | ② | ③ |
|----|----|----|----|
| 1. | 頼政 | 義家 | 義経 |
| 2. | 頼家 | 義仲 | 義経 |
| 3. | 頼家 | 義仲 | 義朝 |
| 4. | 頼政 | 義家 | 義朝 |
| 5. | 頼政 | 義仲 | 義経 |

(2) 空欄Aに入る語句として正しいものを1つ選べ。

1. 石橋山
2. 一の谷
3. 倶利伽羅峠
4. 壇の浦
5. 屋島

(3) 下線部④について、鎌倉幕府の機構に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 1180年に設置された侍所は、御家人を組織し統制する機関であり、東国御家人の和田義盛が別当（長官）に任じられた。
2. 1184年に設置された公文所は、裁判事務を担当する機関であり、朝廷の官僚出身の大江広元が別当（長官）に任じられた。
3. 1184年に設置された問注所は、一般政務や財政事務をつかさどる機関であり、朝廷の官僚出身の三善康信が執事（長官）に任じられた。
4. 1185年に設置された京都守護は、地方機関の一つであり、朝廷との交渉や京都警備のほか、西国および奥州御家人の統率に当たった。
5. 1185年に設置された鎮西探題は、地方機関の一つであり、九州の御家人を統率するとともに、大宰府の実権も握った。

(4) 下線部⑤に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 日本の曹洞宗の祖とされる栄西は、禅を学ぶために宋に渡り、悟りを開くために坐禅そのものを重視する教を説き、地方武士に教を広めた。
2. 時宗の開祖とされる貞慶は、善人・悪人や信心の有無を問うことなく、すべての人が救われるという念仏の教を説き、踊念仏を通じて各地へ布教した。
3. 西大寺の一遍は、戒律の尊重を説いて律宗を再興し、弟子の忍性とともに、貧しい人々や病人の救済・治療、橋の修理などの社会事業にも尽力した。
4. 法華宗の開祖とされる法然は、天台宗の根本経典である法華経を釈迦の正しい教えとし、題目（南無妙法蓮華経）をとることで救いがもたらされると説いた。
5. 浄土真宗の開祖とされる親鸞は、阿弥陀如来の救いを信じる心を強調し、煩悩を捨てきれない悪人こそ、仏が救おうとする人間であるとする悪人正機説を説いた。

(5) 下線部⑥に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 世俗をすどくみつめた随筆には、鴨長明の『方丈記』や兼好法師の『徒然草』のほか、天台座主の『愚管抄』などがある。
2. 公家のあいだで、過ぎ去ったよき時代への懐古と尊重から、朝廷の儀式・先例を研究する有職故実の学や古典の研究が盛んになった。
3. 宋の朱熹が大成した宋学（陽明学）が伝えられると、そのうちの大義名分論は、後醍醐天皇を中心とする討幕運動の理論的なよりどころとなった。
4. 平氏の興亡を主題とした説話集の『平家物語』は、琵琶法師によって平曲として語られたことにより、文字を読めない人々にも広く親しまれた。
5. 後鳥羽上皇の命で編纂された『金槐和歌集』には、編者の藤原定家や藤原家隆らによる技巧をこらした万葉調の歌がおさめられた。

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

幕末から明治維新にかけて、日本は大きな政治的・経済的改革の波に直面した。1842年に起きたアヘン戦争は、日本に欧米列強の植民地化の脅威を与えた。1853年には（ ① ）が軍艦4隻を伴い浦賀に来航し、翌年には軍艦7隻を引き連れて幕府に強硬に開港を迫った。幕府はその要求に従い、④日米和親条約を結んだ。ついで、ロシアの使節（ ② ）が長崎に来航し、日露和親条約を締結した。

日米和親条約に基づいてアメリカ駐日総領事として下田に赴任した（ ③ ）は、幕府に通商条約の締結を強く求めた。1858年、大老の井伊直弼は孝明天皇の勅許を得ないまま、日米修好通商条約に調印した。幕府は、アメリカとの条約に続いて、イギリス・フランス・ロシア・オランダとも同様の条約を締結し、翌1859年から日本と欧米諸国との貿易が始まった。貿易の開始による経済変動は、激しい⑤尊王攘夷運動を引き起こす結果となった。

1866年に将軍に就任した徳川慶喜は、討幕派の機先を制して⑥大政奉還を行った。一方、討幕派は王政復古の大号令を発して天皇を中心とする新政府を樹立し、⑦旧幕府側と新政府による内戦が勃発した。その結果、軍事力で圧倒した新政府軍は旧幕府軍を降伏させ、事実上、新政府が国内を統一した。

（6）空欄①～③に入る人名の組合せとして正しいものを1つ選べ。

- | | ① | ② | ③ |
|----|------|--------|-------|
| 1. | ビッドル | プチャーチン | ハリス |
| 2. | ペリー | ゴローニン | フィルモア |
| 3. | ビッドル | プチャーチン | フィルモア |
| 4. | ペリー | ゴローニン | ハリス |
| 5. | ペリー | プチャーチン | ハリス |

（7）下線部④に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. アメリカ船への薪水・食料の供給は拒否したが、難破船員の救助を認めた。
2. 開港場に居留地を設け、一般外国人の内地旅行を制限することが定められた。
3. 下田と兵庫の2港を開き、船舶の寄港を許し、領事の駐在を認めた。
4. 自由貿易の要求は拒否したものの、アメリカに一方的な最恵国待遇を付与した。
5. 東海道の宿場駅である浦賀の近くで結ばれたことから、浦賀条約ともいう。

(8) 下線部⑤について、この時期におこった出来事に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. イギリス・フランス・アメリカ・オランダの4国が連合艦隊を編成し、長州藩の下関砲台を攻撃して占領した四国連合艦隊下関砲撃事件が1864年におこった。
2. 長州藩は勢力を回復するために、1864年の寺田屋事件を契機に京都に攻めのぼったが、会津・桑名・薩摩などの諸藩の兵に敗れて退いた。
3. 1862年、江戸からの帰途、土佐藩の島津久光の行列を横ぎったイギリス人を土佐藩士が殺傷した生麦事件がおこった。
4. 老中堀田正睦は、公武合体の政策をとったものの尊王攘夷派の反発を招き、1862年に坂下門外で水戸藩の浪士らにおそわれて負傷し、老中を退いた。
5. 薩摩藩と土佐藩は公武合体派の公家と結んで、1863年8月8日に八月十八日の政変をおこして、会津藩と三条実美ら尊攘派の公家を追放した。

(9) 下線部⑥について、徳川慶喜に大政奉還を建白した人物として正しいものを1つ選べ。

1. 板垣退助
2. 西郷隆盛
3. 岩倉具視
4. 中岡慎太郎
5. 山内豊信

(10) 下線部⑦に関する記述として誤っているものを1つ選べ。

1. 相楽総三らの赤報隊は年貢半減を掲げて東山道を東進し、農民の支持を得たが、のちに新政府が年貢半減を取り消したために、偽官軍として処刑された。
2. 徳川慶喜を擁する旧幕府側は、1868年1月、大坂城から京都に進撃したが、鳥羽・伏見の戦いで新政府軍に敗北し、徳川慶喜は江戸に逃れた。
3. 新政府は東征軍（征東軍）を派遣したが、江戸城は、徳川慶喜の命を受けた勝海舟と新政府軍の大久保利通が交渉し、1868年4月に江戸城を無血開城された。
4. 幕臣の榎本武揚らは箱館の五稜郭にたてこもりなお抵抗したが、1869年5月に降伏し、国内は新政府によってほぼ統一された。
5. 旧幕臣の一部は関東各地で抵抗を続け、東北・越後の諸藩も奥羽越列藩同盟を結成して抵抗したが、1868年9月の会津落城により大勢が決した。

次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

1931年9月18日、関東軍は（①）郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し、それを中国軍の行為として軍事行動を開始した。対英米協調を外交の基本路線とする第2次若槻礼次郎内閣は、当初「不拡大」の方針を決定したが、軍はそれを無視して戦線を拡大し、2月にはほぼ満州全土を占領した（⑤満州事変）。1931年に始まった満州事変は、1933年5月の日中軍事停戦協定により一応終結したが、中国政府では抗日気運が高まり、1936年12月には⑥西安事件がおこった。

このような状況下で、1937年7月7日（②）郊外の盧溝橋で、日中両国軍が衝突する事件が発生した。この事件に対し、第1次近衛文麿内閣は不拡大方針を表明しながら、その一方で華北への派兵を認めたため、軍事行動が拡大した。他方、中国側も1937年9月に第2次国共合作（抗日民族統一戦線）を背景に、首都を（③）から武漢（漢口）、さらに（④）に遷し徹底抗戦し、日中戦争は泥沼化していった。

日中戦争全面化に伴い、近衛内閣は巨額の軍事予算を編成するとともに、直接的な経済統制にふみ切った。1938年には⑦国家総動員法が制定され、国民生活のすみずみまでが政府により統制されることになった。

(11) 空欄①～④に入る地名として正しいものを1つ選べ。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|----|----|----|----|----|
| 1. | 奉天 | 南京 | 北京 | 重慶 |
| 2. | 重慶 | 北京 | 南京 | 奉天 |
| 3. | 奉天 | 北京 | 南京 | 重慶 |
| 4. | 重慶 | 南京 | 北京 | 奉天 |
| 5. | 北京 | 奉天 | 南京 | 重慶 |

(12) 下線部⑤について、満州事変から日本が国際連盟を脱退するまでの時期に関する記述として誤っているものを1つ選べ。

1. 日本軍は上海で中国軍と衝突した（第1次上海事変）。
2. 海軍青年将校らが犬養毅首相を暗殺する二・二六事件が発生した。
3. 清朝最後の皇帝溥儀を執政として満州国を発足させた。
4. 斎藤実内閣が日満議定書を結び満州国を承認した。
5. 中国政府の提訴に基づき、国際連盟はリットン調査団を派遣した。

(13) 下線部⑥に関する以下の記述のA～Cに入る語句の組合せとして正しいものを1つ選べ。

(A)は、共産党討伐の督励に西安へきた(B)を監禁して、中国共産党の(C)とともに内戦停止と抗日を要求し、(B)に同意させた。

- | | A | B | C |
|----|-----|-----|-----|
| 1. | 張学良 | 蔣介石 | 周恩来 |
| 2. | 張学良 | 周恩来 | 蔣介石 |
| 3. | 蔣介石 | 張学良 | 周恩来 |
| 4. | 周恩来 | 張学良 | 蔣介石 |
| 5. | 周恩来 | 蔣介石 | 張学良 |

(14) 下線部⑦に関する記述として正しいものを1つ選べ。

1. 砂糖・マッチ・木炭・綿製品など生活必需品に配給制が導入され、米は、1940年から供出制を実施し、翌年には切符制となった。
2. 国家総動員法にもとづき、1939年には学徒出陣が行われたほか、価格等統制令の勅令を出して公定価格制を導入した。
3. 1938年、総力戦の遂行に向けて労働者を全面的に動員するため、労働組合を解散し、労資一体で国策に協力する大政翼賛会が結成された。
4. 金融緊急措置令が制定され、翌月には企画院を設置して物資動員計画を策定し、軍需を優先した物資の需給調整を行うこととした。
5. 国家総動員法が制定されたことにより、政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限を得た。